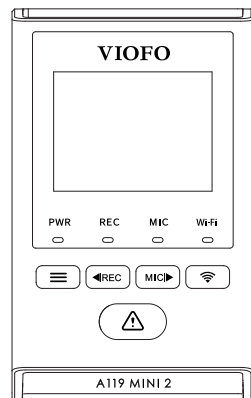


A119 MINI 2

取扱説明書

日本語説明書が以下のリンクからダウンロードできます

<https://viofo.jp/support/>



目次

製品の概要	2
梱包内容	
別売りオプション	
各部の名称	
記録メディアをセットする	
LEDインジケータ	
ボタン機能の説明	
画面アイコンの説明	
取り付け方法	10
操作	14
電源オン/オフ	
ループ録画	
衝撃録画	
ビデオ再生	
コンピュータに接続する	
ファームウェアを更新	
システム設定	17
スマホのレビュー	21
Bluetoothリモコン	22
保証規約	23
カスタマーサポート	25

製品の概要

■ 梱包内容



本機



Type-Cケーブル



電源ケーブル

GPSユニット
(ベース)

内張りはがし



両面テープ

フロントガラス用
両面テープ

* 注意:このType-Cケーブルはファイルの転送およびファームウェアの更新にのみ使用できます。給電ケーブルとしてはお使いいただけません。

■ 別売りオプション



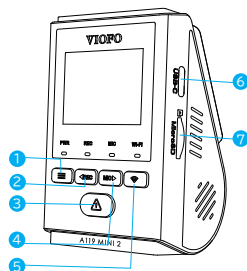
Bluetoothリモコン



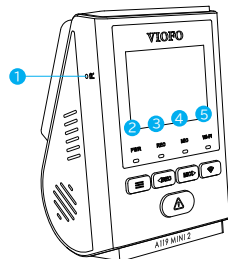
偏光フィルター

HK4
駐車監視ケーブルmicro
SDカード

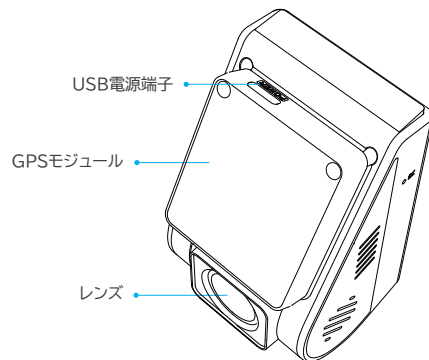
■ 各部の名称



- 1- メニュー|電源オン/オフ
- 2- 録画オン/オフ|[上]ボタン
- 3- ビデオ保護/再生
|メニュー選択ボタン
- 4- マイクオン/オフ|[下]ボタン
- 5- Wi-Fiオン/オフ
- 6- パワーイン/ microSDカード
ドリーダーモード(PC接続時)
- 7- microSDカードスロット



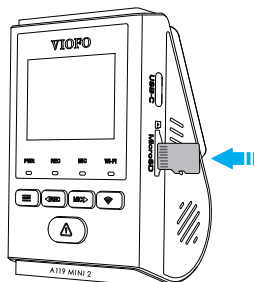
- 1- リセットボタン
- 2- 電源状態LEDインジケータ
- 3- 録画状態LEDインジケータ
- 4- マイク状態LEDインジケータ
- 5- Wi-Fi状態 LEDインジケータ



■ 記録メディアをセットする

microSDカードの挿入

microSDカードを挿入する際は、本機の電源が切れていること(全てのLEDが消灯)を確認して行ってください。
microSDカードの金色の端子が本機のモニター側に向くようにし、カチッと音がするまで挿入してください。



microSDカードの取外し

本機の電源が切れていること(全てのLEDが消灯)を確認して行ってください。

microSDカードを押し込むと、カードをスロットから取り外すことができます。

注意:

- ・ microSDカードは別売りです。本機にはUHS-U1 / U3以上のmicroSD(最大512GBまで対応)カードの使用をおすすめします。
- ・ 高い耐久性と信頼性を誇るトップMLC NANDフラッシュメモリを採用した、VIOFOブランドのmicroSDカードの使用をおすすめします。
- ・ メモリーカードは最初に使用する前にフォーマットする必要があります。パソコンまたはカメラでFAT32ファイルシステムにフォーマットしてください。
- ・ microSDカードを抜き差しする前に、カメラの電源をお切りください。
- ・ 録画中にmicroSDカードを抜き差しすると、ファイルが壊れることがあります。

microSDカードのフォーマット

- ・ microSDカードを使用する前には必ず「FAT32」形式でフォーマットしてください。メニューボタンからシステム設定 -> フォーマットオプションを選択してください。
- ・ microSDカードは定期的にフォーマットを行ってください。重要なファイルはフォーマットの前に必ずバックアップしてください。

■ LEDインジケータ

LED	LED状態	操作
PWR	赤く点滅	ファームウェアを更新
	赤く点灯	電源オン
	消灯	電源オフ
REC	赤く点滅	スタンバイ
	赤く点灯	録画中
MIC	青く点灯	録音オン
	消灯	録音オフ
Wi-Fi	青く点滅	Wi-Fi接続待ち
	青く点灯	Wi-Fiオン
	消灯	Wi-Fiオフ

■ ボタン機能の説明

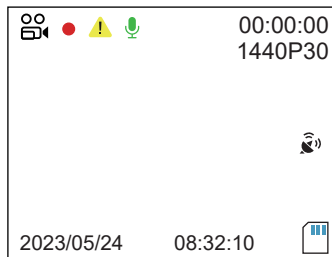
モード	ボタン	操作
録画中		電源オフ(長押し)
		録画を停止/開始
		録画中ファイルをロックする
		マイクオン/オフ
		Wi-Fiオン/オフ(長押し)

モード	ボタン	操作
スタンバイ モード (録画停止)		メニュー表示
		録画を停止/開始
		録画中ファイルをロック
		マイクのオン/オフ
		Wi-Fiオン(長押し)

モード	ボタン	操作
再生ビデオ モード		前のデータへ戻る/再生を停止する
		[上]ボタン/再生速度の変更/ビデオの削除
		現在のビデオを選択/再生/一時停止
		次のファイルを選択/再生速度を変更/ 現在のビデオをロック/現在ビデオの ロックを解除
		利用不可

モード	ボタン	操作
システム 設定		前のデータへ戻る/メニュー設定終了
		[上]ボタン
		選択/確認
		[下]ボタン
		利用不可

■ 画面アイコンの説明



録画モード

00:00:00 録画時間

1440P30 ビデオ解像度



GPS状態



録画状態



緊急ロック



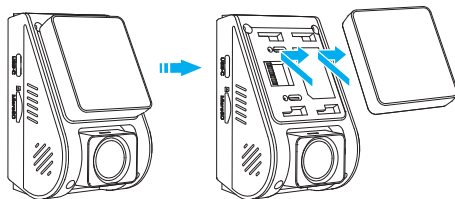
マイク



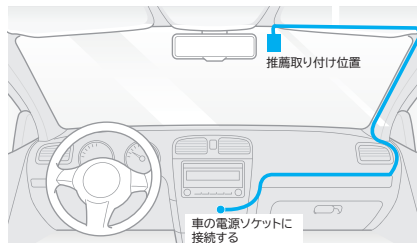
microSDカード

取り付け方法

1) GPSモジュール(マウントベース)をマウンティングレールに合わせてスライドさせます。カチッという音が聞こえるまでスライドさせます。

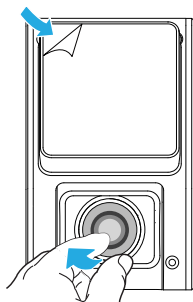


2) 取り付け位置を仮決めし、フロントガラスの汚れ、脂分をしっかりと落とします。



3) ドライバーの視界を妨げないよう、必ずバックミラー裏側のガラス面に取り付けてください。

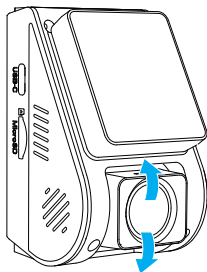
4) 粘着パッドとカメラレンズの保護フィルムをはがします。



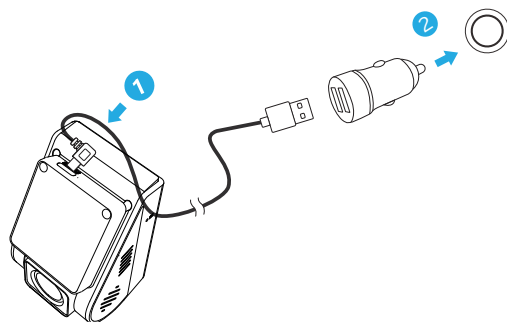
5) 選択した場所にフロントカメラを固定します。

6) レンズの向きを調整する

- ディスプレーの映像を確認しながら、
- レンズの角度を調整します。



■ 電源ケーブル接続



車両の12 V/24 V電源ソケットにカーチャージャーを差し込みます。
次にUSBケーブルのプラグをカメラのUSB端子に差し込みます。

注意:

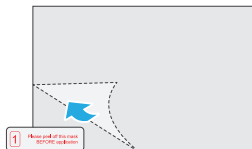
1. 運転者の視界を妨げたり、運転の安全性を妨げたりする場所にカメラを設置しないでください。
2. バックミラーの近くに取り付けることで録画の状態を確認しやすくなります。
3. 雨天時でも良い状態で録画できるよう、フロントワイパーの可動範囲に製品を取り付けてください。
4. レコーダーをエアバッグパネルの上または近くに設置しないでください。思わぬけがの原因となります。
5. 車両のリアガラスにサンシェードを取り付けている場合は、サンシェードと干渉しない位置に取り付けてください。

警告:

カメラやケーブルをエアバッグパネルの近くやエアバッグの動作範囲内に取り付けしないでください。製造者は、エアバッグの展開によって引き起こされたいかなる怪我または死亡に対しても責任を負いません。

フロントガラス用両面テープの取り付け(オプション)

1. 取り付け前にウィンドウガラスの表面をきれいに拭き取ってください。
2. フロントガラス用両面テープから赤い保護フィルムをはがし、ウィンドウガラスに取り付けます。数秒間押し続けて、気泡がないことを確認します。



3. フロントガラス用両面テープから緑色の保護フィルムをはがします。



4. マウントの接着パッドの保護フィルムをはがし、両面テープに取り付けます。カメラを数秒間しっかりと押して、しっかりと取り付けられていることを確認します。

注意:

- ・ウィンドウガラスの表面をきれいに拭き取ることが大切です。油脂やほこりが残っているとステッカーがしっかりと接着しません。
- ・ステッカーとマウントを取り付けた後は24時間経過するまで動かさないでください。接着力が最大になるまで時間が必要です。
- ・高温の車内ではステッカーの接着に最低3日間必要です。常温では1-2日で十分な接着力が得られます。
- ・ステッカーをはがす際は残留物を取り除くためウィンドウガラスクリーナーを使用することをおすすめします。

基本的な使い方

■ 電源オン/オフ

1. 本機が電源に接続された状態でエンジンをかけると本機の電源が入り、自動で録画を開始します。
2. エンジンを切ったり、車の電源を切ったりすると、レコーダーは録画を停止してオフになります。
3. [≡] ボタンを長押しで、本機の電源をオンまたはオフにします。

■ ループ録画

1. microSDカードを挿入した状態で本機の電源がオンになると、ループ録画を設定の時間で自動で開始します。
2. 録画時間(ファイル生成時間)を「オフ/1/2/3/5/10」分から選択できます。

3. 録画メディアの容量がいっぱいになると、古いファイルから上書きして録画を続けます。

4. ループ録画ファイルは下記のフォルダに保存されます。
/ DCIM / MOVIEフォルダ

■ 緊急録画

1. 自動緊急録画

録画中に衝撃を検知すると、自動で録画しているファイルをロックします。ロックされたファイルは上書きされません。

2. 手動緊急録画

録画中に[]ボタンを押すと、現在録画中のファイルがロックされます。ロックされると、ファイルは上書きされません。

注意:

衝撃感度はシステム設定 - > 「衝撃感度」オプションで調整します。

ロックされたファイルはSDカードに保存されます:

■ ビデオ再生

1. スタンバイモード(録画されていない状態)で、[]ボタンを押してプレイリストに入ります。

2. 矢印キー[◀ REC MIC ▶]を使って希望のビデオを選択し、[]ボタンを押して再生します。

3. [] ボタンを押して終了します。

■ コンピュータでビデオを再生する

1. 付属のミニUSBケーブルを使って、レコーダーをコンピューターに接続します。
2. レコーダーの電源がオンになり、画面に「SDカードリーダーモード」を表示されます。
3. コンピューターが[リムーバブルディスク]を検出したらフォルダを開きます。
4. DCIMフォルダは2つのフォルダがあります。
 - Movie(ループ録画動画ファイル)
以下のサブフォルダが
含まれています: 駐車(駐車監視のビデオファイル)
RO(保護/ロックしたビデオファイル)
 - Photo(写真)
5. コンピューターに必要なファイルをコピーします。

■ ファームウェアの更新

弊社ホームページよりファームウェアソフトを入手できます。

<https://viofo.jp/support/>

注意:

- 安定した読み取りおよび書き込みファームウェアを確保するためにアップグレードする前にmicroSDカードをフォーマット必要があります。
- ファームウェアを更新する際、レコーダーの電源は切らないでください。更新に失敗し、起動できなくなる場合があります。

システム設定

カメラボタンまたはVIOFOアプリでシステム設定ができます。(システム設定する前、録画をオフしてください)。

- ・**録画解像度:** 録画したビデオの解像度を設定します。

2592 x 1944P 30fps, 2560 x 1600P 30fps, 2560 x 1440P 30fps, 2560 x 1440P 60fps, 2560 x 1080P 60fps, 2560 x 1080P 30fps, 2304 x 1296P 30fps, 1920 x 1080P 60fps, 1920 x 1080P 30fps,

注意: HDRをオンにすると、フロントカメラ60fpsは利用できません。HDRをオンにすると、フレームレートは自動的に30fpsに切り替わります。

- ・**ビットレート:** ビデオのビットレートを設定できます。高ビットレートに設定すると、動きの速いシーンやコントラスト強いシーンでの画質と滑らかさが向上します。高ビットレート設定では保存できる時間が短くなる可能性があります。低ビットレート設定は、容量を節約し長時間の録画が可能になります。
- ・**ループ録画:** オフ/1/2/3/5/10分。
- ・**露出:** 映像の明るさ(光量調節)を調節できます。露出値は-2.0から+2.0の範囲です。フロントカメラとリアカメラの露出値は別々に調整できます。デフォルト設定は0.0です。
- ・**HDR:** 画像の最も明るい部分から最も暗い部分までの階調を表します。
- ・**駐車監視:** 本機では3つの駐車録画モードを設定できます。

① 自動イベント検出

駐車中に動作を検知している間は、自動的に45秒間録画します。そしてそれは新しい動きがなければ録音を停止します。

② タイムラプス録画

タイムラプス録画は1/2/3/5/10/15 fpsの低いフレームでビデオを録画し、このモードでは音声は記録しません。

③ 低ビットレート録画

フロントとリアカメラは4MB/sの低ビットレートでビデオを録画します。通常の録画モードと比較してより長時間の録画が保存できます。

注意:

駐車監視録画には VIOFO HK4 駐車監視ケーブルを購入することをお勧めします。
真夏の暑い時期に車を屋外に駐車する場合は、タイムラプス録画モードを強くお勧めします。車内の温度が60°Cを超える場合は、録画エラーや取り返しがつかない損傷を防ぐため、ドライブレコーダーの電源を切ることをお勧めします。

- ・**駐車録画時間:** 駐車録画時間を設定します。
「オフ」は電圧を保護値より低いまでレコーダーを録画続させることを表示します。
「1時間」は駐車モードで1時間後にレコーダーの電源が切れ、録画が行われなことを表示します。
- ・**駐車監視遅延:** 駐車監視モードに入る時間を設定します。
- ・**駐車衝突感度:** Gセンサーは大きな衝撃や突然の動きを検知し、イベントの記録を開始します。駐車モード録画では高感度に設定することをお勧めします。

・**駐車動作検出:** 検知の感度を調整します。駐車モードでは、風や雨によるわずかな動きは録画は行われません。

・**インターバル撮影:** 低フレームレートで録画します。容量を節約し、長時間の再生にかかる時間を短縮できます。デフォルト設定はオフです。

・**動作検知:** オンに設定した状態で、レコーダーの正面に動きがあった場合、自動的に録画を開始します。動作検知後、60秒間動きを検知なかった場合、録画を停止し動作検知モードに入ります。新たに動作を検出すると、レコーダーは再度録画を開始します。

・**GPS:** GPS機能のオン/オフを切り替えます。GPSユニットで車速と位置情報を記録するために使用されます。オフ設定時は車両の速度と位置を記録せず、日時を自動的に同期しません。コンピューターでGPS情報を確認するには「Dashcam Viewer」プレーヤーを使用してください。

- **速度単位:** キロメートル/時(KMH) とマイル/時(MPH)。
- **衝撃感度(G-sensor):** Gセンサーは衝撃力を測定し、ループ録画の対象にならないようにファイルが自動的にロックされます。低く設定することをお勧めします。
- **WiFi:** オン/オフを設定する。ボタンを3秒または5秒押してWi-Fiを有効にします。
- **日付表示:** 録画したビデオに時刻と日付を表示します。
- **GPS情報スタンプ:** 映像にGPS情報を表示します。
- **モデル情報スタンプ:** 映像にカメラモデルを表示します。
- **録画音声:** マイクのオン/オフを切り替えます。録音中にマイクボタン [] を押してマイクのオン/オフ変更ができます。
- **スクリーンセーバー:** 設定した時間後に画面を消灯します。
- **ブート遅延:** 電源を入れてから起動する際に遅延起動を行います。遅延時間は5秒と10秒から設定できます。
- **LED:** LEDライトをON/OFFします。
- **日/時刻:** システムの日付/時刻を設定します。
- **タイムゾーン:** 現在のエリアタイムゾーンを設定します。(日本GMT+9:00)
注意: サマータイムは手動調整が必要です。
- **言語:** 各種言語に変更可能です。(英語、中国語、フランス語、日本語など)。
- **音声コントロール:** 音声コントロールのオン/オフを切り替えます。音声コントロールがオンになっていると、音声コマンドを使ってカメラを操作できます。写真を撮る、Wi-Fi のオン/オフを切り替える、録画を開始するなどを声で行えます。

注: 音声コントロールの言語はドライブレコーダーのシステム言語と一致している必要があります。次の6つのオプションがあります: 英語、中国語、ロシア語、日本語、ベトナム語、タイ語。その他のドライブレコーダーの言語システムの場合、英語が音声操作機能を起動する唯一の言語です。

- **音声コントロール:** カメラを遠隔操作するためにさまざまな音声コマンドを発行できます。これには次のようなものがあります:

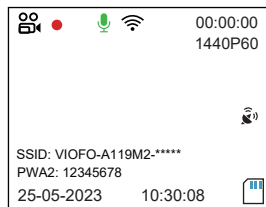
写真を撮る	スクリーンオン
ビデオスタート	スクリーンオフ
ビデオ停止	ビデオをロック
音声オン	WiFiを開く
音声オフ	WiFiを閉じる

- **電子音:** ボタンの操作音と本機の起動音をオンまたはオフにします。
- **フリッカー:** 地域の使用電圧に応じて周波数を調整してください。(東日本50Hz/西日本60Hz)
- **画像回転:** 画面を上下逆さまにします。
- **鏡像:** 画像を左から右へ反転させます。
- **フォーマット:** micro SDカードのすべてのデータを削除します。
注意: カードをフォーマットするとすべての情報が削除され、復元することはできません。重要なファイルのはフォーマットの前に必ずバックアップしてください。
- **フォーマット警告:** フォーマット警告通知の間隔を設定します。
- **デフォルト設定:** デバイスを出荷時設定に復元します。
- **ナンバープレート:** 録画した映像に事前に登録した車両のナンバーを表示します。
- **ユーザー情報:** ユーザー情報をビデオで表示します。
- **ファームウェアバージョン:** 現在のファームウェアバージョンを表示します。

スマホのプレビュー

VIOFOアプリを使用すると、レコーダーの映像をスマートフォンから確認できます。本体内の各種パラメータの設定も可能です。Wi-Fiがオンになっている場合、レコーダーはAPPでのみ設定の変更を行うことができます。本体では設定の変更することができませんのでご注意ください。

システム設定でWi-Fiをオンまたは [] ボタンを長押しします。Wi-Fiがオンになると、Wi-Fiアイコンと初期パスワードが画面に表示されます。



スマホでレコーダーを接続する

Android携帯でGoogleストアまたはiPhoneでApp Storeを開きます。VIOFOを検索してください。



App Store
でダウンロード



Google Play
でダウンロード

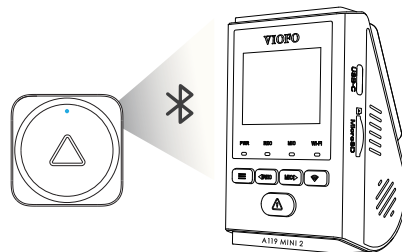
- VIOFO APPをダウンロードしてインストールします。
- VIOFO APPを起動します。
システム設定でWi-Fiをオンまたは [] ボタンを長押しします。
- アプリのヒントに従ってレコーダーを接続してください。

Bluetoothリモコン（別売り）

ハンドルなどの操作しやすい場所にBluetoothリモートコントロール（別売）を取り付けます。リモコンのボタンを押すと、カメラは現在のビデオファイルをロックしてビデオスナップショットを撮ります。

ドライブレコーダーとのペアリング

- レコーダーを電源に接続してオンにします
- リモコンのボタンを3秒以上押したまま、赤いライトが点滅するのを待ちます。
- ペアリングが成功すると、リモコンのLEDインジケータが青色に変わります。



保証規約

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

1. お買い上げ日から1年間の保証期間内に、取扱説明書に従った正常な使用方法で故障した場合にのみ、本書の規定に基づき無償修理もしくは交換サービスを提供させていただきます。修理や交換により代替品をご提供の場合、お送りいただいた製品は特別の申し出がない限り当社の所有となります。

2. 保証期間内であっても次のような場合には有償での修理となります。

- ・取扱説明書、その他の注意書きに従った使用がなされなかった場合。
- ・当社の許可なく行われた不正な修理や改造による故障または破損。
- ・お買い上げ後の移動、落下、引っ越し、輸送などによる故障または破損。
- ・火災、地震、風水害、およびその他の天災地変による故障または破損。
- ・保証書の提示がないとき。
- ・消耗品(バッテリーなど)の交換の場合。
- ・お買い上げいただいたご本人様でない場合(譲渡など)

3. 本製品のご使用または故障により生じた付随的な損害(本製品を使用するために要した費用)、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切の責任を負いません。

4. 保証書は日本国内においてのみ有効です。

5. 保証期間経過後の修理などについてご不明の場合はお買い上げの販売店、またはカスタマーサポートにお問い合わせください。本書は著作権法上の保護を受けています。当社の書面による特別の許可を得ずに本書の全部または一部を印刷物のかたちであれ電子的かたちであれ、複製・転載・貸借・翻訳することを禁じます。いかなるかたちで あっても商用利用を禁じます。

カスタマーサポート

この度はVIOFOをご利用いただきありがとうございます。
すべてのVIOFO商品を購入日から60日間返品、返金など迅速丁寧に対応させていただきます。18月間の保証がございます。弊社の公式ページより製品登録すると保証期間が18月から24月に半年延長致します。お客様に100%満足いくのサービスをご提供致します

製品登録制度

VIOFOJP公式Twitter「VIOFO@JP」をフォロー
6ヶ月品質保証を延長します。登録後の保証期間は標準の18カ月から24カ月に延長されます。



QRコードをスキャンすると6ヶ月間の延長保証が有効になります。

ビデオ共有

弊社にVIOFOカメラで録画したビデオを共有します。
新しい発見と一緒に楽しみましょう！無料ギフトをプレゼントする機会があります。share@viofo.comにてご連絡してください。

連絡先

- メール: supportjp@viofo.com
- Youtube:「VIOFO JAPAN」を検索
- Twitter: <https://twitter.com/VIOFOJP1>
- Facebook: <https://www.facebook.com/viofo.japan/>
- +86 755 8526 8909 (CN)
- 月曜日-金曜日 9:00-18:00(UTC+8)



QRコードをスキャンしてチケットを送信する